目次と編集方針

この統合報告書でお伝えしたいこと

日工グループは、1919年にショベル・スコップの製造販売会社として創立しました。現在では、道路舗装用アスファルト合材製造設備をはじめ、コンクリート製造設備、建設副産物の再資源化設備、仮設機材などを通じて、社会インフラの整備・維持に貢献しています。兵庫県明石市を拠点に、当社のビジョン「世界を、強くやさしい街に。」の実現に向け、社会価値と経済価値の両立による中長期的な企業価値の向上に取り組んでいます。

統合レポートは、2019年の創刊以来、本号で第8号となります。本レポートは、投資家をはじめとするステークホルダーの皆様に、当社グループの現在地と、2030年ビジョンの実現に向けた価値創造の道筋をご理解いただくことを目的としています。

「日工グループ統合レポート2026」では、トップメッセージ、CFOメッセージ、エクイティストーリー、事業戦略、サステナビリティを相互に関連付け、2030年ビジョンと時価総額目標の実現に向けた戦略と取り組みを、一貫したストーリーとして構成しました。本号では、トップメッセージに加え、独立社外取締役との対談やエクイティストーリー座談会を通じて、2030年ビジョンに向けた考えとその背景を、社長自身の言葉でお伝えすることを重視しました。同時に、独立社外取締役や各事業の責任者がそれぞれの立場から語ることで、監督と執行の双方の目線から当社の現在地をご理解いただけるよう構成しています。記載した方針は、いずれも取締役会での議論を重ねてきたものです。

私は、本レポートの発行責任者として、記載内容の正確性に加え、マテリアリティと事業戦略の連動性、ならびに資本市場との対話を意識した情報開示を重視しています。本レポートを皆様との建設的な対話の起点とし、いただいたご意見やご提言を経営に反映することで、企業価値と株主価値の持続的な向上につなげてまいります。

「日工グループ統合レポート2026」の発行にあたって

常務取締役 管理本部長（CFO）
川上 晃一



なぜ成長できるのか？ → なぜ収益性が向上するのか？ → なぜROEは改善するのか？ → なぜサステナビリティとガバナンスを強化するのか？ → なぜ株主価値が向上するのか？

Contents

イントロダクション

価値観と目指す姿 …… 1
目次と編集方針 …… 2
日工グループの紹介 …… 3
日工グループ製品が活躍する場所 …… 4
沿革 …… 5
イノベーションと社会課題解決の歴史 …… 6
独自技術と競争優位性 ～バリューチェーンとエコシステム 7
資本市場の注目点に対する回答 … 9
トップメッセージ …… 10

価値創造戦略 16

価値創造プロセス …… 17
価値創造プロセスと経営資本の活用 …… 18
マテリアリティ …… 19
リスクと機会 …… 21
CFOメッセージ …… 23
経営戦略に連動した経営資本の最適配置 …… 27
2030年ビジョン実現に向けた中期経営計画（2025-2027年度）の位置付けと進捗（2025年度） … 29
エクイティストーリー座談会 … 31
AP関連事業（アスファルトプラント関連事業） … 35
BP関連事業（コンクリートプラント関連事業） … 37
DX・サービスモデルの変革 … 39
環境及び搬送関連事業 … 40
破砕機関連事業 … 41
製造請負関連事業・その他事業 … 42
価値協創基盤の強靱化策 … 43

サステナビリティ 45

サステナビリティマネジメント … 46
カーボンニュートラルの実現 … 47
資源循環型社会の確立 … 50
特集 従業員座談会
社会基盤をアップデートする、日工のエンジニアたち … 51
人材育成と働きがいの向上 … 54
サプライヤー（協力工事店）との価値共創 … 58
地域社会・未来世代への貢献 … 59
資本効率経営を支えるガバナンス改革 … 60
コーポレート・ガバナンス … 63
コンプライアンス・リスクマネジメント … 71
ステークホルダーエンゲージメント 72
役員紹介 … 73

コーポレートデータ 75

財務・サステナビリティ情報ハイライト … 76
2026年度業績見通しと業績分析データ … 78
過去10年間の財務データ … 79
連結財務諸表 … 81
株式・株価情報 … 84
会社概要と拠点一覧 … 85
子会社要覧 … 86

■対象読者　日工グループにかかわりのあるすべてのステークホルダーの皆様を対象としています。

■報告期間　2025年度（2025年4月1日～2026年3月31日）を主たる報告対象期間としていますが、当該期間以前もしくは以降の情報も含まれます。

■社名表記　「日工」、「当社」は日工株式会社、「日工グループ」、「当社グループ」は連結対象子会社を含む日工グループを示しています。

■将来情報に関する注意事項　本レポートには、将来の見通しに関する記述が含まれています。実際の業績は、当社見通しと異なる可能性がありますので、ご理解くださいますようお願い申し上げます。なお、2026年度の見通しは、2026年9月公表の2027年3月期第1四半期決算説明会資料及び2026年6月公表の中期経営計画進捗状況に基づいています。

■編集方針　本レポートの制作・編集にあたり、IFRS財団の「国際統合報告フレームワーク」、経済産業省の「価値協創ガイダンス」などの各種ガイドラインを参照しています。